

Backcountry Access, Inc.
2820 Wilderness Place, Unit H
Boulder, Colorado USA
Phone: 303.417.1345
www.backcountryaccess.com

(株)K2ジャパン BCA事業部

〒101-0032

東京都千代田区岩本町 1-10-5

TMM ビル 6F

TEL: 03-5809-1904

FAX: 03-5809-1977



販売店様印

TRACKER2™

取扱説明書



基本注意事項

アバランチビーコンは十分に訓練をつんだ人がいなければ生命を救うことはできません。バックカントリーへ行く前にTrackerでよく練習を行ってください。雪崩危険評価、ルート選択、自己救出の技術を訓練してください。常にアバランチビーコンに加え、プローブ、ショベルも携帯しましょう。また雪崩救難用エアバッグやトランシーバー等の使用もお勧め致します。

バックカントリーに出発する前には全ての装備確認を行い、適切に機能しているかを確認してください。Trackerをご使用になる時は毎回作動テストをしてください。全ての機器が間違いなく送受信が行われているか、最低20mの距離で信号を受信しているか確認してください。

検索時に携帯電話、無線機、GPS機器、デジタルカメラ、その他の電子機器はTracker2から50cm以内に近付けないでください。受信モードでは、これらの機器及び、送電線、雷、発電機等の電氣的干渉が原因で不規則な表示や受信感度を弱めたり、複数埋没表示に影響を与えることがあります。送信モードでは、Tracker2を他の電子機器から最低20cmの距離を保ってください。必ず同じブランドの同じ電池残量のあるアルカリ電池をご使用ください。充填式電池、リチウム、NiOx電池等は使用しないでください。

この取扱説明書はTracker2を有効に使用する上での基本的なテクニックを紹介しています。効率の良いトレーニングの為にトレーニングDVDやウェブサイトをご参照ください。

www.backcountryaccess.com

また、我々のサイトでは雪崩教育や各地の雪崩の最新情報を入手する事ができます。

修理保証とソフトウェア更新情報を受ける際に下記オンライン上で保証登録をしてください。

www.backcountryaccess.com

雪崩についての知識

ここでは雪崩の危険性や意識について基本的な紹介を致します。

このマニュアルをよく読んでください。ウェブサイト上ではこの説明書以外の情報も参照する事ができます。バックカントリーへ出発する前に予定エリアの雪崩状況の情報を得ることを強く提案致します。

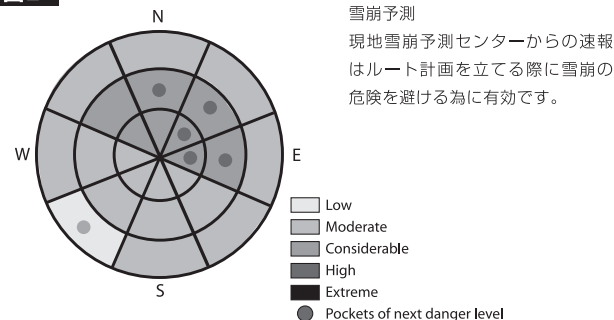
出発前に現地の雪崩予測センターや危険度レベルを確認しましょう。

U.S. www.avalanche.org

Canada www.avalanche.ca

Europe www.lawinen.org

図B



まず初めに全員でビーコン、プローブ、ショベルを所持していること、使用方法を身につけていることを確認してください。更に雪崩救難エアバッグや送受信無線のようなグループコミュニケーション機器の使用を推奨致します。

雪崩地形を理解するために

- ・その斜面で過去に雪崩が起きたことがあるかどうか？
- ・斜面の傾斜度と状況は？
- ・直近の天候は雪の安定性に影響ありますか？

雪崩地形を避けるために

- ・最近雪崩が発生した形跡がないか？
- ・斜面の角度は30-40度の間ですか？
- ・滑走斜面に危険な地形上の障害はありませんか？(岩、木、溝、崖等)

思慮深い仲間との行動

- ・危険を含む地形は一人づつ一度に横切りましょう
- ・安全なゾーンを見極め、そこで止まる訓練を心がけること
- ・斜面が雪崩した場合の避難ルートを常に心構えしておくこと
- ・斜面を滑走する前にパートナーと協議する

グループでの行動には典型的な失敗に注意

- ・以前に滑ったことがあるが雪崩発生がなく、安定性に自信があると思っているエリアに立ち入る時
- ・進路や斜面に対して見解の不一致を恐れて話し合わない時
- ・グループの行動力を過信した時
- ・滑走地帯やコンディションを再確認しないまま目的地に向かってしまうこと

もし迷った時は、疑わしい地形を避け安定した雪面に戻ることが一番です

もし雪崩に遭遇したら

- ・“雪崩だ”と叫び、腕を振りグループに警告しましょう
- ・雪崩救難エアバッグを持っていれば速やかに展開しましょう
- ・木や岩を掴んだり、脇に向かい“泳ぐ”ことにより雪崩の斜面から逃れるようにしましょう
- ・気道を確保しましょう
- ・雪崩がゆっくりとなってきた（止まり始めた）と感じるときは、発見されやすくするために片手を上に突き出しましょう
- ・もう片方の手は、空気を取り込む隙間（空間）を広くとるために顔の前に置きましょう
- ・落ち着いてゆっくり呼吸し空気を浪費ないようにしましょう

遭難者を探索する為に

- ・助けを求めに行かない。あなただけが遭難者生存の唯一の望みです
- ・最後の目撃地点を目印などで確保する
- ・自分に第2雪崩の危険がないことを確認してください
- ・遭難者の地点に至る視覚的な手がかりを探しましょう
- ・ビーコンを使って遭難者の探索を開始してください

この簡易操作方法ページでは Tracker 2の基本動作をご紹介します。

更に詳しい情報はウェブサイト www.backcountryaccess.com をご覧ください。

■ 基本機能

電源オンオフ: Tracker背面の電源オンオフスイッチを“オン”の位置に回してください。電池残量は距離/電池ディスプレイ画面に表示されます。電池は残量が20%に到達する前に交換してください。

検索モードへの切替: 本体下部の検索モードスイッチを下方向に引いてください。発信モードから検索モードに切り替わり“SE”と表示されます。

発信モードへの切替: 検索モードスイッチを本体へ押し戻してください。発信モードへ切り替わる前に、ディスプレイに“tr”と表示され約5秒後間ビープ音になります。

■ Tracker 2による搜索方法

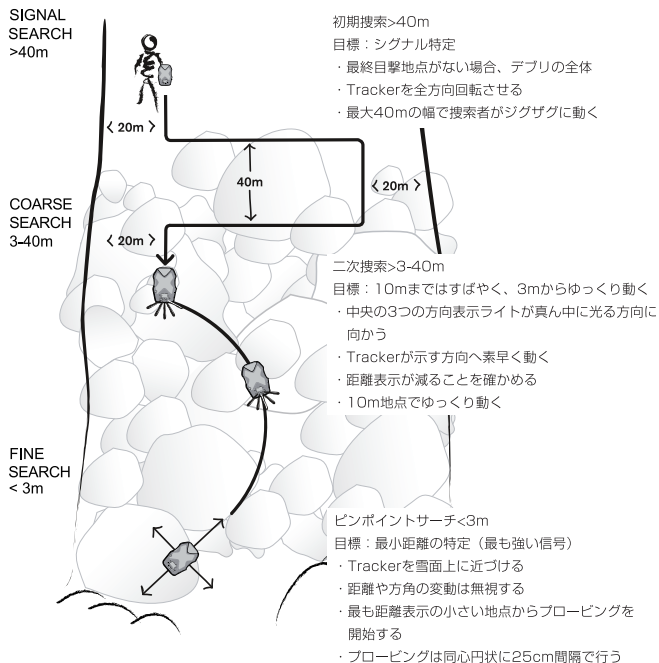
この目的は最も強い信号（最も近い距離）を見つけ出し、速やかにその地点をブローピングすることです。

雪崩埋没が起きたとき、あなたのTracker(また他のビーコン全て)を搜索モードに切り替えてください。信号を捕らえるまで距離表示画面には“SE”と点滅表示します。

シグナルサーチ: もし“最後に目撃された地点”がある場合は、その地点から下に向かって搜索を始めましょう。または雪崩の起きた斜面の上部、下部、側面から始めましょう。搜索者間は最大40m離すか、搜索者が1人の場合はその幅でジグザグに動いてください。シグナルを見つけたらTrackerをゆっくり全方向に回転させてください。

二次搜索: シグナルを発見したらTrackerを中央3つのライトが指し示す方向に平行にしてください。進む方向は真っ直ぐかやや曲線を描きます。距離表示の数値が減っていることを確かめてください。もし数値が増えているならば180度向きを変えてください。10mの距離が表示されるまで、ゆっくりと動き常に搜索ランプが中央になるようにしてください。

ピンポイントサーチ: 距離表示が3mになったところから、ビーコンを雪面に近付け最小値を探してください。距離や方向の急な変動は無視してください。一番強いシグナルは直前で変動することがあります。最小値（一番強いシグナル）の場所でブローピングを始めてください。



プロービング

最も低い距離表示を示した地点を起点に同心円状に25cm間隔でプロービングを始めてください（図H）。プローブは斜面の雪に対して垂直に差し込んでください。埋没者の位置を確認できたら、そのままプローブを雪面に刺した状態にします。

ショベリング

ショベリングは雪崩レスキューの大部分の時間を費やす困難な作業です。最高の結果を得るために、プローブより下方斜面から掘り始めてください（図J）。少なくとも両手を広げた幅の穴を掘りましょう。埋没深度が1m以上の場合、深さの1.5倍下方より掘り進めてください。

複数埋没者捜索

殆どの場合、複数埋没者捜索は1人埋没者捜索と同じように導かれます。詳しい捜索技術については15ページをご覧ください。

世界初のトリプルアンテナビーコンTracker2をお買い上げいただきありがとうございます。ご存じます。

あくまでもビーコンサーチは雪崩救助プロセスの一部に過ぎません。この説明書で後述するプローブやショベルで技術を習得することも同様に重要です。

基本機能

電源オンオフ：Tracker背面の電源オンオフスイッチ①を“オン”の位置に回してください。電池残量は距離/電池ディスプレイ画面に表示されます②。

電池残量が表示された後、ビーコンは“tr”と点滅し、発信モードになります。発信モードランプ③は送信電波に合わせて光ります。もし電池残量が20%以下になると、このランプは光りません。

注意：電池残量パーセントはおおよその数値です。電池残量が20%になる前に電池交換④することを推奨致します。

探索モード：本体下部の探索モードスイッチ⑤を下方方向に引いてください。発信モードから探索モードに切り替わり“SE”と表示されます。

ビーコンは探索モード時には電源をオフにはできません。常に発信モードに戻してから電源をオフにしてください。

発信モードへの切替：探索モードスイッチを本体へ押し戻してください。発信モードへ切り替わる前に、ディスプレイに“tr”と表示され約5秒後間ビープ音になります。

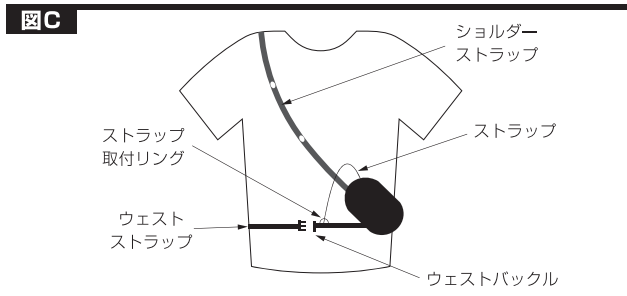
探索モードの状態で30分経過すると10分毎にビープ音が鳴ります。発信モードのまま12時間経過すると2分毎にビープ音がします。このビープ音は使用者に注意を促す音で、ビーコンがまだ作動していることを知らせます。



取扱方法

取付 / 調整

Tracker2 はハーネスを付けた状態、あるいは取り外した状態でも使用可能です。ハーネスを身につける場合、Tracker2 は下記（図 C）のようにアウターウェアの内側に取付けてください。ディスプレイ側をご自身の体のほうに受けて発信ライトが見えるようにしてください。



搜索時には、ハーネス収納ケースから Tracker2 を取り出し、ハーネスは身につけたままでストラップを繋いだ状態にしてください。もし、ハーネスシステムを使用しないのであれば、バックカントリーで行動している間は決して脱ぐことのないズボンや他の衣類の確実に閉じられたポケットに入れておくこと。ストラップクリップをジッパーや固定された物に取り付けてください。搜索時にハーネスや衣類からストラップを外す場合は、手首にストラップをループ状に巻きつけてください。

●電源

Tracker2 は単4電池3本で起動します。高品質のアルカリ電池を使用した場合、同じブランド、同じ残量のものご使用ください。充電式電池、リチウム電池、NiOx 電池又はその他アルカリ電池以外の電池は使用しないでください。毎年シーズン初めには新しい電池に交換してください。

更にディスプレイが起動された際に、オプション SP ボタンを押すことにより電池レベルを確認することができます⑥。

Tracker2 を高湿度の中で使用した場合、バッテリーボックス④のふたを開け、内部を完全に乾かしてください。接続部の腐食を防ぐためにも、使用しない期間はバッテリーを抜いておきましょう。製造者はバッテリーの腐食による故障は保証の対象外になります。

探索方法

搜索方法

Tracker2 は国際標準周波数である457kHzを採用し、同基準の発信機と互換性があります。

消防士救出用に開発されている457kHzの発信機とは一緒に使用しないでください。

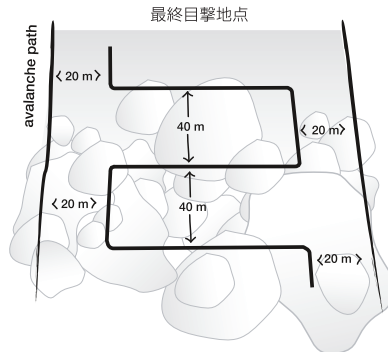
搜索モードの時、Tracker2を最低30cm携帯電話やビデオカメラなどの電子機器から離してください。もし可能であれば全ての電子機器の電源を切ってください。

搜索には4つのプロセスがあります。初期搜索、二次搜索、ピンポイントサーチ、そしてプロービングで位置指定することです。

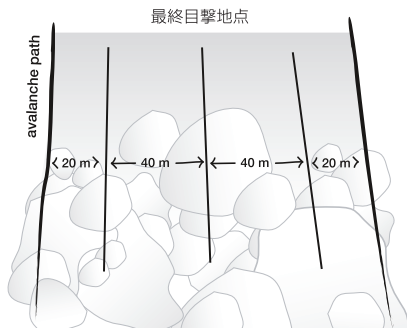
初期搜索：初期搜索とは搜索パターンを決定し、信号をキャッチする過程の事です。搜索パターンは遭難者が最後に目撃された地点、雪崩の規模と搜索者の人数により決まります。図Dを参考に初期搜索パターンを決定してください。もし雪崩の幅が40m未満ならば初期搜索は雪崩の方向に沿って真ん中を真っ直ぐに上下してください。もし遭難者が最後に目撃された地点が確定できるのであれば、初期搜索はその地点から雪崩の崩れた方向に向かって進みます。

もし雪崩の幅が40m以上で、最終目撃地点がない場合は（図D）のジグザグパターンで雪崩の起こったエリアを動いてください。もし複数搜索者がある場合は、雪崩の端から20m距離をとり、搜索者間は40m以上空けて進んでください。

図 D 搜索者が1人の場合（雪崩の幅が40mより広い場合）



図E 探索者が複数の場合（雪崩の幅が40mより広い場合）



初期探索で優先されることは、まず発信機を捜索モードに切り替えることです。Tracker2を（図F）のように信号に従いゆっくり全方向に回転させてください。探索時には雪面上に遭難者の装備品などの物理的な手がかりにも注意しましょう。信号をキャッチできなければ、距離表示画面に“SE”と点滅して知らせます。一貫した信号を検出したら、その地点に印をつけ二次探索へ移ります。

図F



Trackerを水平と垂直にゆっくり動かし、但し、初期探索の段階では素早く動いてください。強い信号を受信するまで探索進路に向かってください。電氣的干渉によって起こる不規則な信号は無視してください。

二次探索：

二次探索は安定した信号を発見した地点から遭難者の近地点を探し出す過程です。

継続的に信号を受信するようになればTrackerをゆっくりと水平に動かし、方向表示ランプ⑦が中央になるように調整します。

Trackerが最も強い信号の方向を示す事になります。中央両側からの4つのランプTracker2を常に中央に導くためのサインです。距離表示画面⑧にはどのくらい進まなければならないかおおよその距離をメートルで表示します。もし、距離表示⑧の数値が上昇するようであればそれは同じ電波の軸を正反対の方向に進んでいることを示しています。180度回転し、再び方向表示ランプを中央に戻し、その指し示す方向に進みましょう。静止している状態にもかかわらず、距離表示が目立って変化する場合他の探索者の信号をキャッチしているかもしれません。探索続行の前に全ての探索者が捜索モードになっていることを確認しましょう。

方向指示ランプを追っていると、そのルートが弧を描いていることに気がつくかもしれません。Tracker2はビーコンから発信された電波曲線（フラックスライン）に沿って誘導します。距離表示画面の距離はこの曲線に沿って移動すべき距離であり、遭難者までの直線距離ではありません。

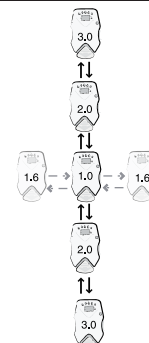
ピンポイントサーチ：

ピンポイントサーチは歩きながらビーコンを雪面に接するように近づけて探索を行う最終段階のことを指します。ピンポイントサーチは信号が最も強い地点を特定し（距離が一番近い）、プロービングエリアを限定します。

ピンポイントサーチでは最終の3mになったところから雪面に沿ってゆっくりと真っ直ぐ前後に動かしてください。2m以内に入った場合は方向表示ランプではなく距離表示に注意してください。最小値を示した場所になったところで90度に左右に直角方向に動かしてより小さい値を見つけてください（図G）。

必要であればこれを繰り返してください。最も距離表示の小さい地点からプロービングを開始します。

図G



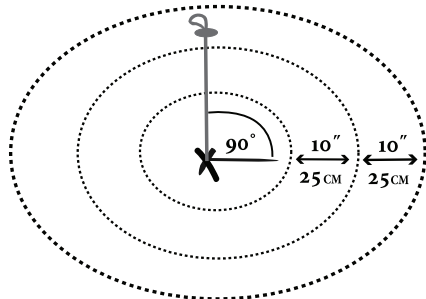
ブラケット：最も小さい距離表示まで進んでください。ブラケット中は、2m以内の方向指示ランプは無視してください。この工程では距離表示が変わる為、ビーコンを回転させないでください。

探索方法

プロービング

最も低い距離表示を示した地点を起点に同心円状に25cm間隔でプロービングを始めてください(図H)。プローブは斜面の雪に対して垂直に差し込んでください。埋没者の位置を確認できたら、そのままプローブを雪面に刺した状態にします。

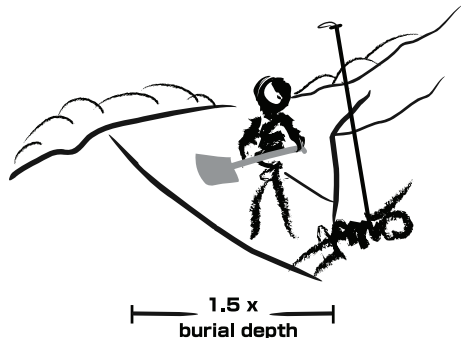
図 H



ショベルリング


ショベルリングは雪崩レスキューの大部分の時間を費やす困難な作業です。最高の結果を得るためにプローブより下方斜面から掘り始めてください(図I)。少なくとも両手を広げた幅の穴を掘りましょう。埋没深度が1m以上の場合、深さの1.5倍下方より掘り進めてください。

図 I



探索方法

複数埋没者検索

殆どの場合、複数埋没者検索は1人埋没者検索と同じように導かれます。Tracker2の受信範囲内に1人以上の埋没者がいるときに、複数埋没者アイコンが表示されます。(注意: このアイコンは時々旧式のアナログビーコンや他の電子ノイズを受けて反応することがあります)。

もし複数埋没者ランプがTracker2の画面に現れ方向や距離が1つ以上表示された時は、おそらく受信範囲内に埋没者が複数存在する事になります。検索モードのまま最も近い距離に絞り込み中央のランプの信号に従って進んでください。

1つ目の信号が他より近くなった時(検索モード)にTracker2はその信号を固定し、他の信号を隠します。固定するとTrackerは1人の時のビーコンサーチと同様に機能します。最初の埋没者を発見したら、安全な状態を確認し、出来るだけそのビーコンの電源をオフにしてください。もし電源をオフにするのが難しくければ、Trackerが信号を探し出す方向まで動いてください。

複数埋没者ランプが断続的に光っている場合は近接した地点に少なくとも2人以上(捜索者の5m以内)が埋没していることを表します。その場合は特別な技術が必要になります。

特別な技術とは複数の捜索者がいること、複数埋没者が近接した状態、ビーコンの電源を切ることができない場合を想定しています。この技術の概要については17ページをご覧ください。

搜索方法

上級オプション

オートリポートシステム: オートリポート機能とは搜索モードで5分以上経過するとTracker2が自動的に発信モードに切り替わる機能です。起動時にオプションSPボタン⑥を押しながら電源をオンにすると設定されます。ディスプレイ画面に“Ar”と表示されるまで、SPボタンを押してください。一度設定されるとビーコンが電源オンになっている限りオートリポートが設定されます。

オートリポート設定後、搜索モードで4分30秒経過すると30秒間警告音がなり距離表示ディスプレイに“Ar”と繰り返し点滅します。搜索モードのまま30秒間警告音が鳴っている間に、オプション/SPボタンを押すか、発信搜索切替スイッチを一度切り替えます。

30秒間経過するとTrackerは“tr”が点滅し発信モードに切り替わります。オートリポートモード時には搜索モード切替スイッチを引いたままにしているとビーブ音が鳴り使用者にビーコンが発信モードに変わったことを知らせます。

消音モード:

音を消すには送信(“tr”)モードでオプションボタン⑥を押しながら搜索モード切替スイッチを引き出し“LO”と表示されたら手を離してください。スピーカー④を元に戻すには搜索モード切替スイッチを発信モードに戻してください。搜索(“SE”)モードに再び切り替えると音が出ます。ビーコンが信号を発信し始める時には消音モードにはなりません。

スペシャルモード:

スペシャル(SP)モードは複数の遭難者がいる状況で、上級搜索者の活動の助けになるように設計された機能です。SPモードを使用する状況は遭難者同士が近接し、プロガイド等が次の遭難者を搜索開始する間に他の救助者がショベルリングをスタートできる典型的な搜索方法です。

スペシャルモードは搜索モードからしか切り替えられません。SPモードにする為にオプションSPボタン⑥を押してください。更なる探索方法は次のページをご覧ください。

上級搜索技術

多くの場合、複数の埋没者搜索は1人の埋没者搜索の一連の流れに類似しています。ただし、スペシャルテクニックは埋没者の電源をオフにできない場合や複数の搜索者がいる場合に役立つかもしれませんが(ビーコンを最も熟知している人が他の人を探し続けている間に数人がショベルリングを始められます)。これらのテクニックは2人以上が近接した状況で埋没している状況でも必要となります。埋没者の距離が5m以内にいない場合、1つの信号を見逃してしまう可能性があります。もし埋没者がそれより離れている可能性があるならば、2つ目の信号を捕えるまでTrackerで搜索を続けましょう。近接した複数埋没者がいる場合(1人以上の搜索者がいる状態で)、以下のスペシャルテクニックをお勧めします。

スリーサークルメソッド:

この技術はSEモードで他の信号を探すまで最初の埋没者の場所から同心円内を囲むようにしてください。大きな堆積があり、勾配の低い地形で最も効果的です。

マイクロサーチストリップメソッド:

この技術は小さなデブリ地域やガイド試験で直面したときに有効です。ユーザーはSEモードのままデブリの積み重なりを次の信号を見つけるまで3~5m縦横に動いてください。

上記のスペシャルテクニックの詳細についてはBCAのサイトで紹介しています。
上級Trackerマニュアル www.backcountryaccess.com

スペシャルモード:

近接した複数埋没者搜索の効率をアップするためにスペシャル(SP)モードを使ってください。このモードはTracker2に最も近いビーコン以外の信号の距離と方向を表示します。またTracker2の方向表示では中央3つの方角ランプだけに限定し最初に発見したビーコンと2つ目のビーコンを区別し、おおよその距離と方角を表示します。距離が近づいたときSEモードに切り替わります。

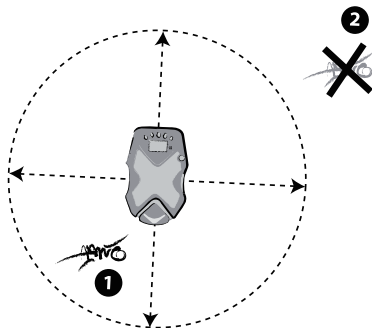
SPモードを使うために、まず1つ目のビーコンを最小距離と中央ランプで再度確認してください。中央の搜索ランプが運動したらTracker2をSPモードに切り替えてください(図J)。Tracker2が違う信号(ビーコン2)に反応するまで広い範囲をゆっくりと回転させてください。

もしビーコン1のブラックスライムから40度以上離れて回転するとその信号は消失し、ビーコン2の信号を捕えられます。

もしSPモードで他の信号を捕えず、近くに埋没者がいる可能性があると思うときは、立ち上がり胸の高さで再度搜索してください。それでも他の信号が発見されない場合は3歩下がり繰り返してください。（またはSEモードへ戻しスリーサークルメソッドを使ってください）

図 J

搜索（SE）モードでは最も強い信号（ビーコン1）しか表示しません。信号は先にある（ビーコン2）を受信するが、距離や方向表示を示さない。

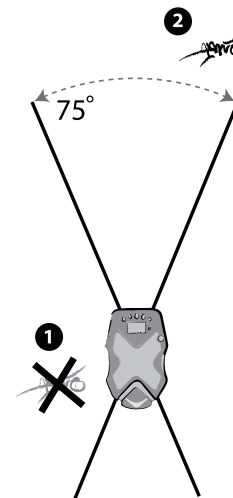


SPモードで他の信号を見つけ出したときは、その方向へ向かってください。距離表示が徐々に小さくなれば正しい方向に進んでいることになります。SPモードでフラックスラインに沿って距離が減る方向に向かってください。ビーコン1より更に近いビーコン2に近づいたと思ったときはスイッチをSEモードに戻してください。

図 K

スペシャルモード（SP）では全ての信号を示すが、Trackerは搜索範囲を前後75度に狭めます。この角度内だけ（ビーコン2）を示します。この75度はTrackerの中央3つのランプに対応します。

常にビーコン1からビーコン2の中間に立つとき、搜索モード（SE）にスイッチを戻してください。



もし1人目の埋没者を見つけた後、SPモードで他の信号が認められない場合でも不明者がいる場合は搜索を続けてください。

デブリ内の未確認地帯が残っているときは搜索モードに戻り、見落とした場所でシグナルサーチを再開してください。

複数埋没者搜索の詳細はウェブサイトをご参照ください。

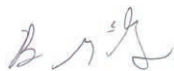
www.backcountryaccess.com

適合宣言

ISO/IEC ガイドライン 22, EN 45014

生産者：Backcountry Access, Inc.
2820 Wilderness Place, Unit H
Boulder, Co 80301
USA

公表商品名：Tracker 2, 457 kHz 雪崩救難用トランシーバー
適合仕様：R&TTE 指令 1999/5/EC, 条項 3.1a, 3.1b, 3.2, and 3.3e 及び
統一基準：
EN 300 718-1
EN 300 718-2
EN 300 718-3



Bruce McGowan
President, Backcountry Access, Inc.

製品仕様書

- ・周波数：457kHz
- ・使用電池：単 4 アルカリ電池 3 本
(充電池、リチウム、NiOx 電池等のアルカリ電池以外は使用しないでください)
- ・電池寿命：送信モード 200 時間後、捜索モード最低 1 時間
(おおよそ送信モードのみ 250 時間、捜索モードのみ 50 時間)
- ・捜索圏内：50 m
- ・重量：181g (ストラップと電池を含まない)
- ・サイズ：13.2cm x 7.6cm x 2.5 cm
- ・最低気温(66.7% 電池残量時)
送信モード：-10℃ + 40℃
捜索モード：-20℃ + 40℃
- ・US Patent No.6,167,249 & 6,484,021 B1

FCC ID: OUNT2

Model No.: Tracker2

IC:3561 A-T2

このデバイスは FCC 規則第 15 部に準拠しています。
以下の 2 つの条件に従って動作します。

- (1) このデバイスは有害な電波干渉を発生させることはない。
- (2) このデバイスは、誤動作を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要がある。

注釈：この機器は FCC 規則第 15 部に従い、クラス B デジタル機器基準に適合しています。この機器は無線周波数や無線通信に影響を及ぼさないように設定されています。しかし、特定の設備に干渉しないことを保証するものではありません。もしこの機器がラジオやテレビの受信状態に影響を及ぼす場合は、電源を切る事を推奨します。

- ・受信アンテナを再設定・設置する。
- ・機器と受信機との間の仕切りを増やす。
- ・機器と受信機のプラグの差込口を違う場所に変える。
- ・販売店や無線 / テレビ技術者に相談する。

注意：法令を遵守した生産者の意図としない変更や改良については所有者の取扱権利を無効にします。



この度は、当社の製品をお買い求めいただきありがとうございます。
下記の注意事項をよくお読みの上、ご愛用くださいますようお願い申し上げます。

保証内容

1. 保証期間

株式会社 K2 ジャパンの輸入する正規商品のみを対象とし、保証期間は御購入頂いてから5年間とします。
保証期間内に修理・交換をした場合において期間の延長はございません。

2. 保証の範囲

取扱説明書などの注意書に添った正常なご使用状態の元で、品質および製造上の欠陥により故障および損傷した場合。

- ・修理が可能な場合：無償修理
- ・修理が不可能な場合：同等品と無償交換

また保証は製品本体にのみ適用し、交通費、リフト代金、付属品等製品以外に関する費用は対象ではありません。

3. 保証期間でも次の故障・損傷の場合は有償とさせていただきます。

- ・使用上の誤り、不注意による損傷や故障の場合
- ・移動中の不備・事故などで損傷した場合
- ・ご自身の意図で改造・不当修理をした場合
- ・外的要因（火・熱・水など）による場合
- ・火災、地震、地変等による場合
- ・保管、運搬場の不備による場合
- ・製品をストーブ等熱によって変形・損傷した場合
- ・消耗品が摩耗もしくは損傷し交換を要する場合
- ・滑走中の転倒や衝突など過度の衝撃を受けた場合
- ・強度を超えた使用方法により損傷・故障が生じた場合
- ・色あせ、色落ちなど性能上支障をきたさない外装上の問題
- ・電池の液漏れによる故障。損傷
- ・本体にシリアル番号の記載がない場合
- ・保証書にお買い上げ店名、期日の記載、押印が無い場合
- ・保証書の掲示がない場合
- ・その他上記に準ずる場合

4. 保証請求の手続き

- ・保証が必要となった場合は保証書と製品と一緒に BCA 製品取扱販売店へお持ちください。
- ・なおその際の交通費、運送料などはお客様の御負担となりますのでご了承下さい。

5. 保証の方法

- ・修理可能、不可能の判断は弊社サービスセンターにて行います。
- ・保証の判定に関し、万が一お客様と弊社との間に見解の相違が生じた場合は弊社の判断を優先させていただきますのでご了承下さい。
- ・修理の際、カラーなどが異なる代替え部品を使用する場合がございますのでご了承下さい。
- ・交換するモデルおよびパーツは弊社に在庫が有る限りとさせていただきます。
- ・保証期間内に保証できない種類の損傷、または保証期間終了後の損傷については有償にてアフターサービスをさせていただきます。

6. お客様へのお願い

- ・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ・この保証書は御本人以外使用できません。
- ・保証請求の申し立ては BCA 製品取扱販売店に限らせて頂きます。

保証書

ご購入日： 年 月 日	
販売店名（住所：店印）： ※お店でご記入をお願いします。	
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; display: inline-block;">コピー不可</div>	
モデル名：TRACKER 2	

商品の機能・性能に関するお問い合わせ先

株式会社 K2 ジャパン BCA 事業部

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル 6F

TEL: 03-5809-1904 FAX: 03-5809-1977

修理に関するお問い合わせ先

IS テクニカルサービスセンター

〒437-1425 静岡県掛川市浜野新田 208-2

TEL: 0537-64-5557 FAX: 0537-64-5559

